

2014年(平成26年)8月15日(金)

# 中津の医学史の一端

## 川鳶整形外科にミュージアム「若者も見て」

「解体新書」を訳した中津藩医、前野良沢(1723～1803年)らを輩出した中津市に医学ミュージアムが11日、誕生した。前野ら蘭学者の研究をしている川鳶整形外科病院(同市宮天)の川鳶眞人<sup>まこと</sup>理事長(70)が同病



歯科医だった母の治療道具の前で川鳶理事長

院内に開いた。ミュージアムは大学病院などにあるが、民間病院では珍しいという。同病院の介護ケアセンター1階にあり、広さは約200平方メートル。川鳶理事長のライフワークの潜水士の骨壊死<sup>こくわいし</sup>の研究成果、女性歯科

医の先駆者だった母ミツエさんの診察道具、陸軍軍人だった父眞<sup>まこと</sup>済さんの陣中日誌など約1000点を展示。

川鳶理事長は1981年に医院を設立。2008年度の日本臨床整形外科学会学術賞を受賞しており、「母親が亡くなり、遺品を整理していたら、貴重な写真や資料が出できた。田舎にいても志があれば、国際的な研究はできる。若い人に見てもらいたい」と話している。開館は平日午前9時半～午後5時。土曜は午前9時半～正午。日曜祭日は休館。入場無料。問い合わせは0979・24・0464。【大漣美知朗】